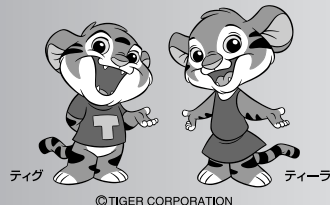
品番
ASR-A 型

タイガー パーソナル加湿器 〈マイミスト®〉

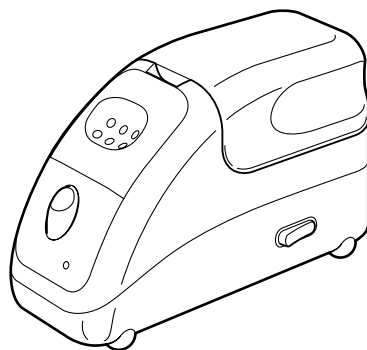
取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

オフィス・自宅机・ベッドサイドなどに
パーソナルスペースで大活躍の
コンパクトタイプ

水タンクの代わりに
500mLの**ペットボトル**
を使って加湿OK!

日本国内100V専用
（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

お願い

ペットボトル（容量500mL専用）を水タンクのかわりに使用する場合は、ペットボトルの中をよく水洗いし、必ず水道水を入れて使用してください。（ペットボトルに入った市販のミネラルウォーターやアルカリイオン水などをそのまま使用しないでください。）
水タンクを使用するときも同様に水道水を入れて使用してください。（使えない水→P.3参照）

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

 (分解禁止)

 この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

 (強制・指示)

 (差し込みプラグを抜く)

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

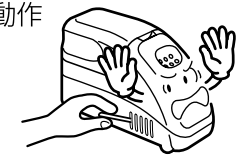
ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

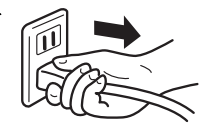
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると熱湯が出てやけどをしたり、けがのおそれがあるので充分注意すること。

⚠警告

蒸気孔・本体にさわったり、顔などを近づけない。
やけどの原因。

通気孔やすき間などに、ピン・針金など金属物(異物)を入れない。
感電や異常動作してけがをするおそれ。

不安定な場所や、本体を傾けて置かない。
転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因。また安全装置の誤作動の原因。毛足の長いカーペットなどの上には置かないようにすること。

お手入れするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。
感電やけがをするおそれ。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

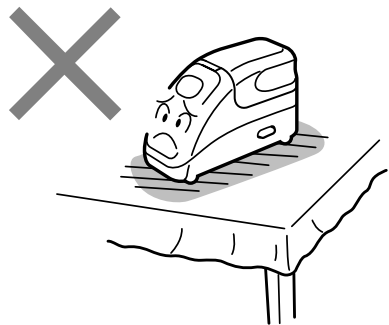
使用中や使用直後に本体の移動、持ち運びはしない。
熱湯がこぼれ、やけどの原因。

差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

使用中や使用直後はお手入れをしない。
高温部にふれ、やけどの原因。

お願い

●熱に弱いものの上では使用しない。

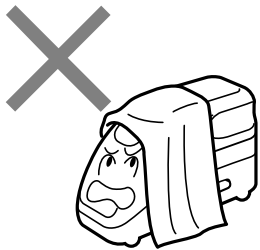
テーブルなどが変色・変形するおそれ。

●水タンク（またはペットボトル）に水道水以外の水を入れない。

【使えない水】

・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水など
水道水（飲料用）は、抗菌処理がされており、その他の水は抗菌作用がないため、カビや雑菌が発生しやすい原因。

・温水（40℃以上）、ジュースなどの飲料水、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水など
本体が変形し故障の原因。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。

故障の原因。

●通気孔をふさいで使用しない。

故障の原因。

●片手で持ち運びしない。

本体は両手を使って水平に持ち運ぶこと。水やお湯もれによる故障・やけどの原因。

●お手入れするときや使用後、蒸発皿に残った水をすてるときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。

やけどのおそれ。

●蒸発皿のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使用しない。

洗剤から有害ガスが発生し、健康を害するおそれ。
また、故障の原因。

●丸洗いはしない。
本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

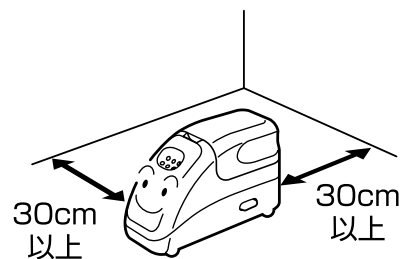
ショート・感電のおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください

●直射日光のあたるところや、暖房器具の近くで使用しない。

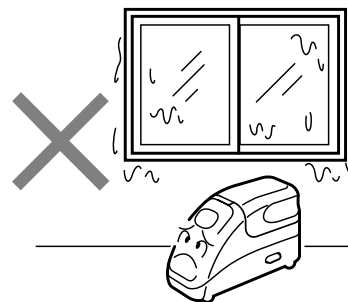
水タンク（またはペットボトル）内の空気が膨張し、本体から熱湯があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●壁や家具・天井などに直接蒸気をあてない。

壁・家具・天井やカーテンにシミがついたり、カビの発生、変形の原因。

●テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。

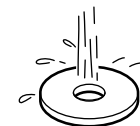
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。

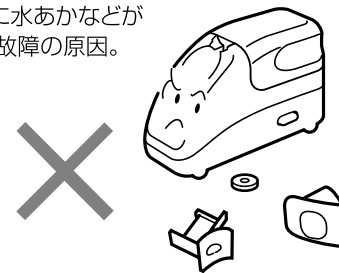
●加湿しすぎない。

長時間連続で加湿すると、結露などで室内をぬらしたり故障の原因。

●水タンク（またはペットボトル）の水は毎日新しい水道水と交換する。
また本体内部は週2回程度定期的にお手入れする。

汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれがあるので、こまめにお手入れをすること。

●クリーニングフィルターはこまめにお手入れする。

蒸発皿の汚れが取れにくくなり、故障の原因。
また汚れや破損がひどくなったときは交換すること。

●蒸気孔本体・クリーニングフィルター・水路カバーをはずしたまま使用しない。

蒸発皿に水あかなどがたまり、故障の原因。

●凍結に注意。

使用しないときは水タンク（またはペットボトル）と本体から水をぬくこと。凍結したまま使用すると故障の原因。

●本体をさかさにしない。

底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

2 各部のなまえとはたらき

水タンク
水タンクの代わりにペットボトル（容量500mL専用）が使用できます。（P.6参照）

専用キャップ
水タンクおよびペットボトルと兼用の部品です。必ず取りつけて使用してください。

蒸気孔

蒸気孔本体

クリーニングフィルター（付属品）

水路カバー

リセットボタン
運転が自動停止した場合に、リセットするときに押してください。（詳しくは、P.7・8参照）

電源スイッチ
電源を入・切するときに使います。

電源コード

加湿ランプ
運転中は点灯します。

差し込みプラグ

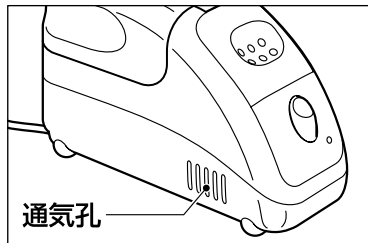
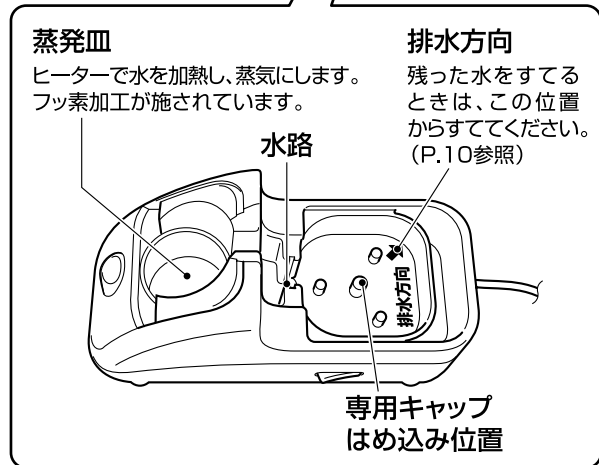
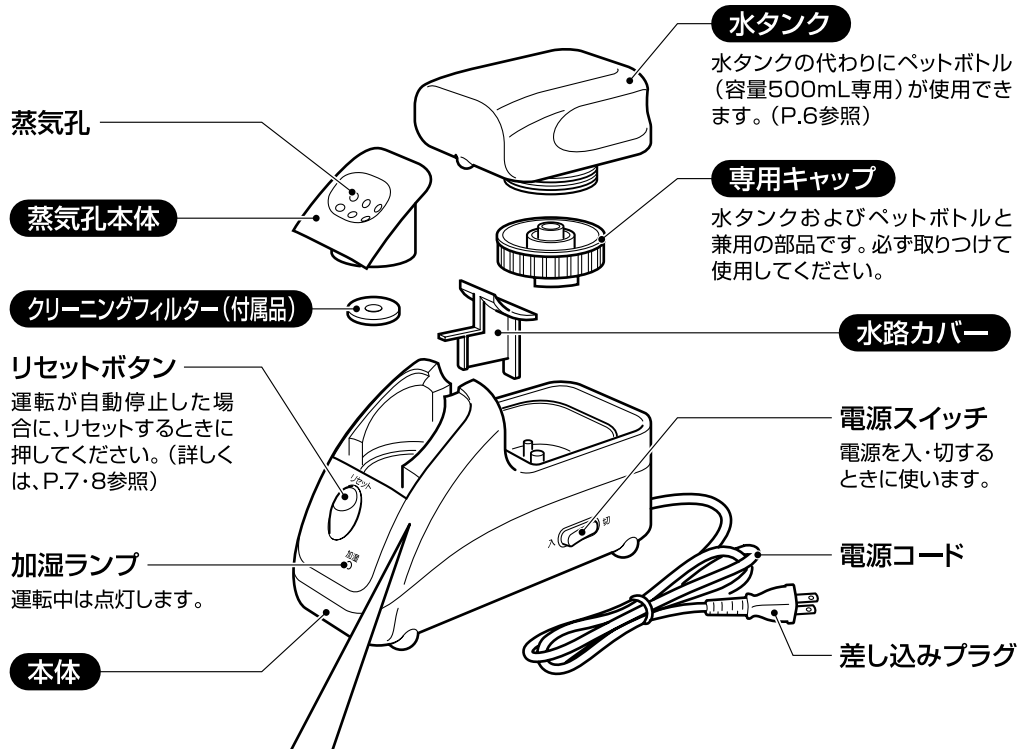
本体

蒸発皿
ヒーターで水を加熱し、蒸気にします。フッ素加工が施されています。

排水方向
残った水をすてるときは、この位置からすててください。（P.10参照）

水路

専用キャップはめ込み位置

通気孔

付属品の確認

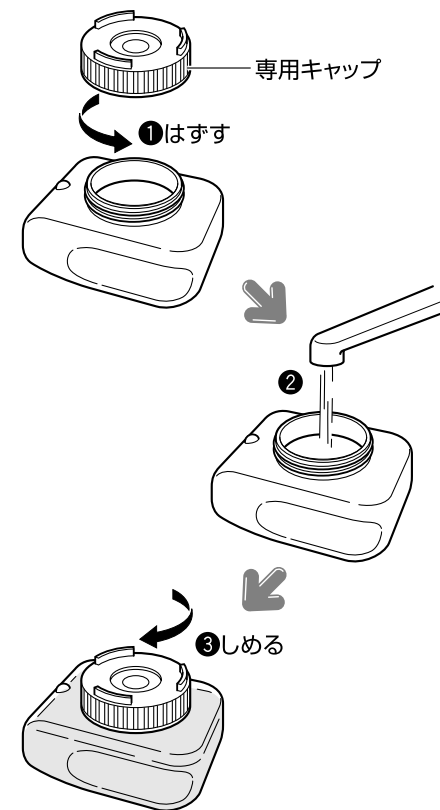
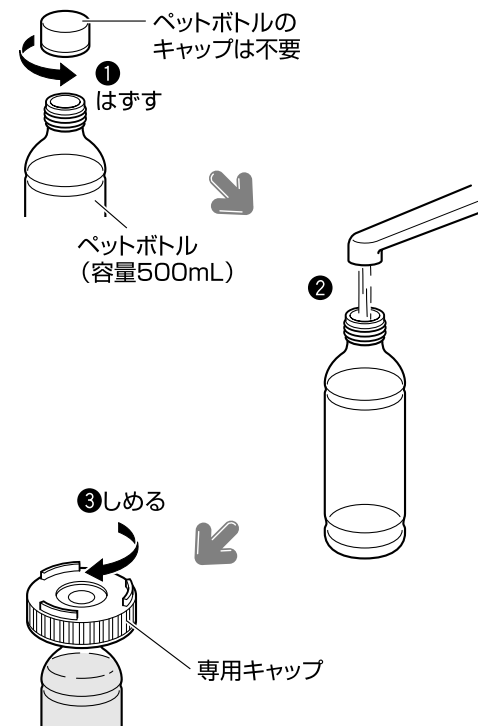
クリーニングフィルター（2枚）
蒸発皿に取りつけます。
（1枚は予備品です。）

3 加湿のしかた

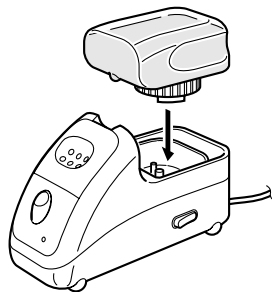
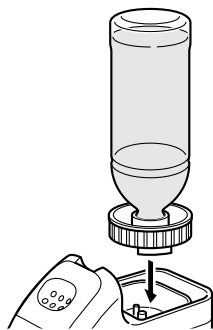
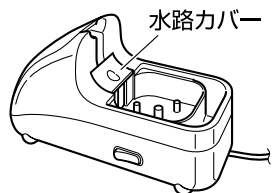
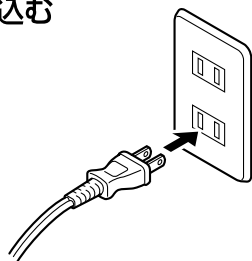
1 水タンク（またはペットボトル）に水道水を入れる

水は、水タンク（またはペットボトル）の半分以上から満水までの間に入れます。

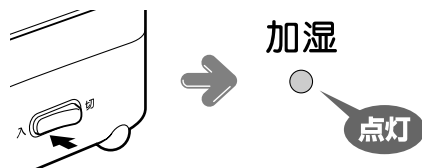
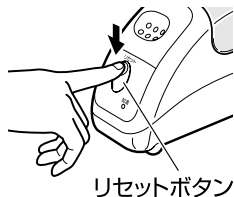
ご注意
- 水は、必ず水道水を入れてください。
- お湯を入れないでください。やけどや故障の原因になります。
- 水を入れた後、専用キャップをしっかりとしめ、水もれがないことを確認してください。

水タンクを使用する場合

ペットボトル（容量500mL）を使用する場合

ご注意
- **ペットボトルは、必ず容量500mLのものを使用してください。**
  500mLよりも容量の多いものや少ないものを使うと、本体やペットボトルが転倒し、お湯や水が流出するおそれがあります。また、水量がよく見えるよう無色透明のものをおすすめします。
- 市販のペットボトルには、付属の専用キャップを取りつけることができないものがありますので、必ず確認をして取りつけられるものを使用してください。また逆さにして水もれのないことを、充分確認してください。
- ペットボトルの飲料をそのまま使用しないで、中をよく水洗いして必ず水道水を入れてください。
- アルミ製のボトルや変形したペットボトルは使用しないでください。

2 水タンク（またはペットボトル）を本体にセットする

水タンクを使用する場合

ペットボトル（容量500mL）を使用する場合

ご注意
- ●水タンク（またはペットボトル）・蒸気孔本体・水路カバー・クリーニングフィルターが正しく取りつけられているかを確認してください。正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができない、また、故障の原因になります。
- ●水路カバーが取りつけられていない状態で加湿しないでください。水タンクが変形するおそれがあります。

3 差し込みプラグをコンセントに差し込む

ご注意 必ず電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

4 電源スイッチを「入」にする

加湿ランプが点灯し、約3分後に蒸気が出はじめます。

※電源スイッチを「入」にしても加湿ランプが点灯しない場合は、リセットボタンを押してください。

※はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また、樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。

※部屋の温度・湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。

水タンク（またはペットボトル）に水が入った状態で電源スイッチを「切」にした後、再度加湿する場合は、電源スイッチを「入」にすると加湿が開始されます。

水タンク（またはペットボトル）の水がなくなったら…

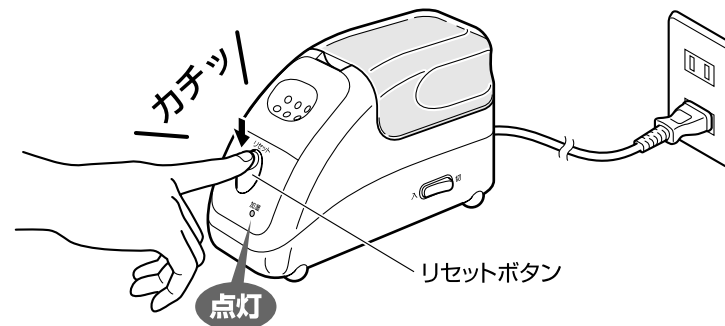
水タンク（またはペットボトル）の水がなくなると、自動的に運転を停止し、加湿ランプが消灯します。続けて使用する場合は、下記の手順で行ってください。

※続けて使用する場合、電源スイッチは「入」のままにしておいてください。

音 運転が停止する直前に「カチッ」と音がしますが、異常ではありません。

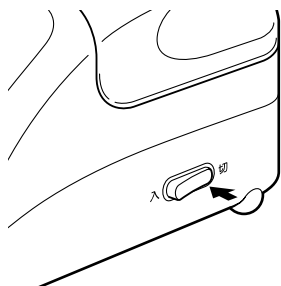
❶運転停止後、約5分以上経過してから、水タンク（またはペットボトル）に水道水を入れ、本体にセットする。（P.6・7参照）

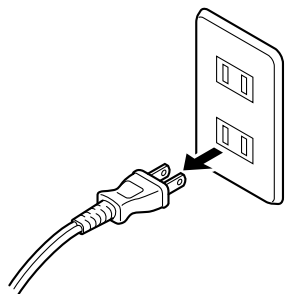
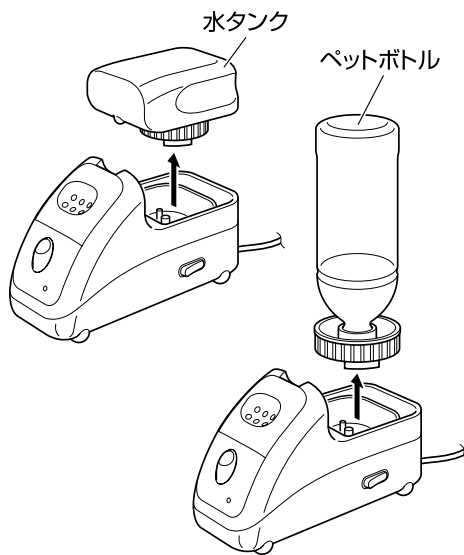
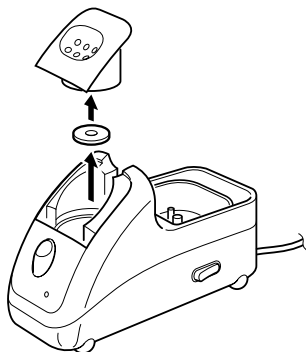
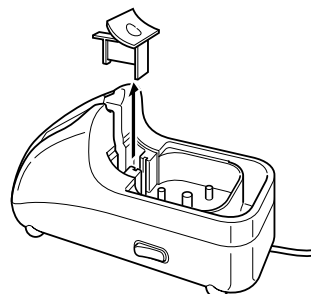
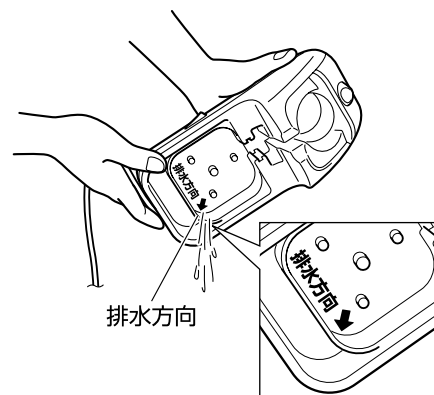
❷リセットボタンを押す。

「カチッ」と音がして加湿ランプが点灯し、加湿が開始されます。

ご注意 水がなくなり、自動的に運転が停止した直後にリセットボタンを押しても、加湿ランプが点灯せず、加湿しません。続けて使用する場合は、必ず約5分以上経過してから水タンク（またはペットボトル）に給水し、リセットボタンを押してください。

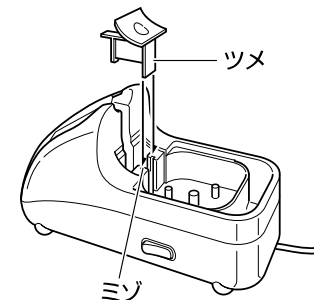
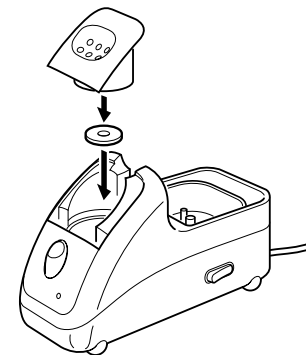
4 使い終わったら

ご注意 ●水タンク（またはペットボトル）の水は、毎日新しい水道水と交換してください。また、蒸発皿・本体内側に残った水は、毎日すててください。変色やにおいの原因になります。
●ペットボトルを使用した場合で、使わなくなったペットボトルをすてるときは、リサイクルできるようにすててください。また、すてるときにあやまって専用キャップもすててしまわないように充分ご注意ください。

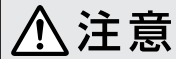
1 電源スイッチを「切」にする

ご注意 差し込みプラグを抜いて、運転を停止しないでください。

2 差し込みプラグを抜く

3 本体がさめた後、水タンク（またはペットボトル）をはずす

4 蒸気孔本体・クリーニングフィルターをはずす

5 水路カバーをはずす

6 蒸発皿・本体内側に残った水をすてる

ご注意 水をすてるときは、必ず本体の「排水方向」の刻印の位置からすててください。違った方向から水をすてると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。

7 水路カバーをつける

水路カバーのツメを、本体のミゾにはめ込みます。

8 クリーニングフィルター・蒸気孔本体をつける

ご注意 ●蒸気孔本体は、確実に取りつけてください。
●クリーニングフィルターには、白い粉（水道水のミネラル分）や水あかなどを吸着させて、蒸発皿に付着する汚れを少なくする働きがあります。クリーニングフィルターは、必ず取りつけてご使用ください。また、こまめにお手入れしてください。そうしない場合、蒸発皿の汚れが取れにくくなり、故障の原因になります。

9 水タンク（またはペットボトル）をセットする（P.7参照）

5 お手入れのしかた

⚠注意　電源スイッチを「切」にして、差し込みプラグを抜く。
本体が冷めて、本体内側の水をすててからお手入れする。

常に清潔に保ち、性能低下・悪臭を防止するためにこまめにお手入れすることをおすすめします。

水タンク（またはペットボトル）の水は、毎日新しい水道水と交換してください。本体内側に残った水は毎日すててください。また、本体内側は、週2回程度定期的にお手入れしてください。

各　部	お手入れのしかた
水タンク （またはペットボトル）	週1～2回程度、水タンク（またはペットボトル）に水を入れ、充分にすすぎ洗いをする。 ご注意　水タンクは、必ず水で洗ってください。お湯で洗うと、変形するおそれがあります。
クリーニングフィルター	週2回程度、水道水で手もみ洗いする。
蒸気孔本体　水路カバー 専用キャップ	月2回程度、水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。 ご注意　専用キャップのパッキンがはずれたときは、パッキンを確実に取りつけてください。 パッキン
本体 本体内側 本体外側	●本体外側・内側は、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。 ●水路は、割りばしなどに布をまきつけて汚れをふき取る。 ●蒸発皿は、週2回程度、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。 水路 蒸発皿 ご注意　●本体の丸洗いはしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。 ●蒸発皿はこまめにお手入れしてください。フッ素加工されていますが、長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなります。

ご注意
●本体は、水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
●食器洗い乾燥機・食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。
●お手入れ後は、各部品を必ずもとの位置に取りつけてください。正しく取りつけられていないと故障の原因になります。

長期間ご使用にならないときは…

お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。（特に本体内側・クリーニングフィルターは充分に）
クリーニングフィルターは、本体から取りはずしてください。
保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

ご注意
●湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。
●数日間使用しないときは、水タンク（またはペットボトル）・蒸発皿・本体内側に残った水をすてておいてください。

6 消耗部品の取り替えについて

クリーニングフィルターは消耗部品です。ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったときは交換してください。
廃棄するときは、不燃物ゴミとしてすててください。

クリーニングフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.14参照）で、部品番号ASR1002とご指定の上、お問い合せください。

樹脂成形品について

※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

7 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告	修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
電源スイッチを「入」にしても運転しない	差し込みプラグが抜けていませんか。	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。	1･7
	水タンク(またはペットボトル)がカラになって、自動的に運転が停止していませんか。	水タンク(またはペットボトル)に給水し、本体にセットした後、リセットボタンを押してください。	8
リセットボタンを押しても加湿しない	水タンク(またはペットボトル)の水がなくなって自動的に運転が停止した後、約5分以上経過していますか。	運転停止後、約5分以上経過してから、水タンク(またはペットボトル)に給水し、本体にセットした後、リセットボタンを押してください。	8
蒸気が出ない	水タンク(またはペットボトル)がカラになって、自動的に運転が停止していませんか。	水タンク(またはペットボトル)に給水し、本体にセットした後、リセットボタンを押してください。	8
	蒸気孔本体が、本体に確実に取りつけられていますか。	蒸気孔本体を、本体に確実に取りつけてください。	10
湿度が上がらない、または水が減らない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	14
	換気をしていませんか。	窓・戸を閉めてお使いください。	—
においが出る	本体内側が汚れていませんか。	本体内側のお手入れをしてください。	11･12
	水タンク(またはペットボトル)・本体内側の水を放置したままになっていませんか。	水タンク(またはペットボトル)の水は毎日新しい水道水と交換してください。また、本体内側に残った水は毎日すててください。	9〜11
水もれする	専用キャップを、しっかりしめていますか。	専用キャップを、しっかりしめて水タンク(またはペットボトル)を本体に取りつけてください。	6
	蒸気孔本体が、本体に確実に取りつけられていますか。	蒸気孔本体を、本体に確実に取りつけてください。	10
	片手で持ち運びしていませんか。	本体は両手を使って水平に持ち運んでください。	3
蒸発皿・本体内側に異物がたまる	クリーニングフィルターを蒸発皿にセットしていますか。	必ずクリーニングフィルターを蒸発皿にセットして使用してください。	5･10
	蒸発皿・本体内側を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	11･12
	水道水以外の水を水タンク(またはペットボトル)に入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	6
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。使用上の品質に支障はありません。		—

仕様

電源	100V 50-60Hz
消費電力	80W
加湿能力(約)	80mL/h
水タンク(またはペットボトル)容量(約)	500mL
連続加湿時間〈最長〉(約)	6時間(水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100Vの場合)
適用床面積(目安)(使用状況、環境により異なります)	木造和室:1.8㎡、プレハブ洋室:3㎡
外形寸法(約)幅×奥行×高さ	9.5×22×14.6cm
質量(約)(電源コードを含む)	580g